

近江和順会 労働組合ニュース No.91

2024年7月7日発行 発行責任者：執行委員長 奥田雄三

6月18日(火) 夏季団体交渉を行い、昨年と同額支給を実現しました!

正規職員 1.2ヶ月+30000円(介護職員)

1.2か月+20000円(介護職員以外)

多様正規職員 正規職員の75%(最低1.0ヶ月は保証する。)

**非常勤職員 30000円(フルタイムの場合。その他の非常勤・パート
の場合は、常勤換算にて支給)**

<法人からの回答の要旨>

物価高騰による厳しい状況は理解するが、2月からの処遇改善支援補助金および、6月からの処遇改善加算一本化において、さらなる手当の増額を実施し、10月には2度目の昇給を実施予定としている。10月の昇給により、冬の賞与にも影響が出ると見込んでいる。人件費率の上昇などもあり、先の見通しが分からないため、夏期一時金については昨年維持と考える。

<交渉の主なやり取り>



組合からは、今の給与ではやはり物価高にはとても追いついていない状況がある。引き続き職員の実質賃金を引き上げていかなければ、モチベーションの低下・職員の離職の恐れがあると訴えてきました。

また交渉の過程で、3月の決算で法人全体の収益が7000万円くらいのプラスになっているということが明らかになり、さらに組合から「法人を支えている職員の頑張りにこたえて、一時金の上積みを考えるべきではないか」と強く交渉しました。しかし法人は「物価がどんどん上がっていて、先が見通せない。施設も老朽化していく一方なので、数千円であっても少しであっても上積みは難しい」と姿勢を変えず、今回の交渉は終了しました。

組合からは最後に、日々の業務の工夫や外国人職員の指導など、多くの職員が職員の定着や法人経営が良くなるように努力していることを伝え、そういった職員の奮闘にこたえるためにも、そして職員の生活を守るためにも、冬の一時金では上積みを考えてほしいと、今後の増額を重ねて訴えてきました。物価高のもとで「現状維持」というのは実質賃金の低下に他ならず、残念な結果とはなりましたが、私たちはこの状況を乗り越えて今後の交渉に向けて、組合員の声をさらに大きく結集していきましょう。生活改善と働きやすい職場づくりを目指して、がんばりましょう!

★第 32 回定期大会を開催しました！



6月28日(金)に美松苑デイサービスにて第32回定期大会を開催し2023年度の活動の振り返り、また組合の活動の意義を再確認すると同時に2024年度の活動方針を確認しました。また、次期執行委員の紹介組合会計の報告を行い、30名近くの組合員に参加していただきました。来賓には法人から富士原理事長、自治労からは佐賀委員長が来てくださり挨拶をいただきました。お忙しい中、足を運んで頂いた方々、ありがとうございました。組合員の皆様、本年度もどうぞ宜しくお願いします。



★次期執行委員の15名です。一年間宜しくお願いします

執行委員長	奥田 雄三	執行委員	永長 啓司
副執行委員長	深山 二菜	執行委員	西村 啓太
書記長	蕨野 具	執行委員	谷川 祐美
書記次長	山田 優輝	執行委員	森田 浩行
会計	前田 裕史	執行委員	今井 弥義
執行委員	生賀 達矢	執行委員	宮島 頼子
執行委員	志賀 翔伍	執行委員	竹内 由美
執行委員	松田 邦彦		



★加入が未だの方へ 組合への加入をお願いします。

労働組合は「組合員とその家族の生活の為、賃金・労働条件を向上させ雇用を守る」ことを目的とした法律で認められた組織です。その目的を達成する為には執行委員会や労使交渉、アンケートの実施など日常の労働組合活動に加え、広く社会が豊かになる為に必要な平和問題や憲法問題、社会保障制度の問題、子育て・医療・介護を取り巻く問題にも積極的に取り組む必要があります。そしてそれらを実現するためには、法人で働く全ての職員が組合員となり、同じ職場で働く者同士、互いに助け合い、支え合い、団結することが必要です。

近江和順会 労働組合 <執行委員> 美松苑: 深山・竹内・前田・森田・宮島・今井
ヴィラ十二坊: 山田・蕨野・谷川・西村・永長 レーベンはとがひら: 志賀・奥田・生賀・松田